



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 フジコー

上場取引所 東

コード番号 2405 URL <http://www.fuikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	1,220	12.2	174	37.9	136	58.7	81	63.7
25年6月期第2四半期	1,087	17.3	126	191.1	86	—	50	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	25.75	25.73
25年6月期第2四半期	16.26	—

(注)25年6月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	2,953	1,213	41.0	380.70
25年6月期	2,981	1,153	38.6	361.95

(参考)自己資本 26年6月期第2四半期 1,211百万円 25年6月期 1,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,313	3.9	300	7.9	260	16.6	140	22.8	44.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期2Q	3,182,400 株	25年6月期	3,181,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期2Q	78 株	25年6月期	78 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	3,181,788 株	25年6月期2Q	3,078,188 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における取り組みは、前期より注力しております各設備の稼働率向上により売上高及び利益の拡大に注力してまいりました。受入平均単価は各設備ともに若干向上しておりますが、概ね前期並みとなりました。一方、受入数量は消費税の改定に伴う新築戸建住宅の駆け込み需要等により、解体廃棄物が増加するとともにショッピングセンター等の非建設系廃棄物の受入数量も堅調に推移しております。建設系リサイクル事業は第1四半期に引き続き、各施設ともに売上高が前年同期を上回っており、全社売上高も20ヶ月連続で前年同月を上回っております。

これらの結果、売上高は1,220百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

売上原価は、第1四半期に計画しておりました改修工事を第3四半期に実施しておりますので、維持管理費が計画比で49百万円、前年同期比で36百万円減少しております。一方、受入数量の増加にともない外注費用、埋立処分費用が前年同期比及び計画比で増加するとともに人件費も同様に増加した結果、前年同期比9.2%増の934百万円となり、計画比でも3.4%増加しております。しかしながら、売上高の増加により、売上総利益は285百万円(前年同期比23.3%増)、計画比で17.6%増となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期比5.9%増の111百万円となり、計画比では人件費及び支払手数料が増加したため10.4%上回っております。営業利益は174百万円(前年同期比37.9%増)、売上高営業利益率は受け入れ体制の効率化等により前年同期の11.6%から14.2%に改善しております。経常利益は、私募債発行にともなう営業外費用等が発生しておりますが、売上高の増加により136百万円(前年同期比58.7%増)、四半期純利益は81百万円(前年同期比63.7%増)となり、営業強化により各利益ともに前年同期を上回っております。

また、前期から事業化への検討を進めてまいりました新規発電施設につきまして、株式会社エナリスとの合弁により子会社及び孫会社の設立を決議し、森林資源を活用したバイオマス発電事業を行う事により、将来の事業拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	988	877	111	909	79
売上原価	713	677	36	702	10
売上総利益	275	200	75	206	69

建設系リサイクル事業は、収益の維持向上を目的として焼却施設及びバイオマス発電施設等の稼働率向上に努めてまいりました。その結果、受入数量は増加傾向であります。効率的な稼働により受入体制は順調に推移しております。焼却施設の売上高は、取引先の多様化により受入平均単価も向上しており、前年同期比18.6%増加しております。発電施設は、受入平均単価が若干下落しておりますが、売電数量が増加するとともに売電単価が向上したため、売上高は前年同期比2.8%増加しております。その他施設の売上高も受入数量の安定化等により、収集運搬業務を含め前年同期比で増加しております。

売上原価は、第1四半期同様、維持管理費及び機械リース費が減少しておりますが、人件費、電気代、埋立処分費用等が前年同期比及び計画比で増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は988百万円(前年同期比12.7%増)、売上原価は713百万円(前年同期比5.3%増)となり、売上総利益は275百万円(前年同期比37.6%増)となりました。

②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	130	135	△4	139	△8
売上原価	123	106	17	111	12
売上総利益	7	29	△21	28	△20

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売拡大に努めてまいりました。当第2四半期末の平成25年12月の販売数量が当初目標でありました600トンを達成しております。飼料化原料の受入数量も前年同期比24.5%増、受入平均単価も3.9%向上しております。しかしながら、新規取引先の受注拡大が期初の計画に対して未達であるとともに、堆肥化施設の受入数量は前年同期比56.6%減少し、受入平均単価も2.9%下落しております。銚田ファームは販売単価も向上しており、飼料及び養豚の売上高は、前年同期比58.3%増加しております。

売上原価は、維持管理費及び飼料販売にともなう委託手数料が増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は130百万円（前年同期比3.3%減）、売上原価は123百万円（前年同期比16.1%増）となり、売上総利益は7百万円（前年同期比74.2%減）となりました。

③白蟻解体工事

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	100	74	25	98	2
売上原価	97	72	25	90	7
売上総利益	2	2	0	8	△5

白蟻解体工事は、解体工事及び白蟻工事ともに消費税の改定にともない新築住宅の着工戸数が堅調であるため、工事件数が増加しております。しかしながら、解体工事は外注費用も増加したため、売上総利益は2百万円の損失となりました。白蟻工事は新築工事の増加により、前年同期比及び計画比で売上高は増加しておりますが、施工体制の強化により売上総利益は概ね同額となっております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は100百万円（前年同期比34.3%増）、売上原価は97百万円（前年同期比35.0%増）となり、売上総利益は2百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期累計期間末の総資産の状況は、前事業年度末に比べ28百万円減少し、2,953百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、短期借入金の借入れ等により現金及び預金が67百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ56百万円増加し、731百万円となりました。

固定資産については、減価償却により118百万円減少しておりますが、機械、車両等の取得により、前事業年度末に比べて85百万円減少し、2,221百万円となりました。

流動負債については、買掛金が39百万円減少、未払法人税等が40百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が118百万円減少しておりますが、第2四半期に借り換えを実施したため、1年内償還予定の社債が98百万円増加、短期借入金が91百万円増加、未払金が17百万円増加したこと等により、前事業年度末に比べ54百万円減少し、616百万円となりました。

固定負債については、借入金の返済等により、前事業年度末に比べ34百万円減少し、1,123百万円となりました。

純資産については、四半期純利益81百万円、期末配当金22百万円の計上等により、前事業年度末に比べ60百万円増加し、1,213百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ67百万円増加し、354百万円となりました。各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は85百万円(前年同四半期は224百万円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益141百万円、減価償却費118百万円を計上しておりますが、仕入債務39百万円、未払費用67百万円、法人税等59百万円の支払等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は35百万円(前年同四半期は43百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得により30百万円支出しておりますが、有形固定資産の売却により65百万円の収入が発生しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は53百万円(前年同四半期は89百万円の支出)となりました。これは主に短期借入れにより91百万円、長期借入れにより458百万円、社債の発行により682百万円の収入でありましたが、長期借入金の返済により1,215百万円、割賦及びファイナンスリース未払金の返済により19百万円、期末配当金22百万円の支出等によるものであります。

②主要な設備の状況

当第2四半期累計期間において、新たに計画した主要な設備は、以下のとおりであります。

会社名	所在地	設備の内容	投資予定額		着手年月	完了予定年月
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		
(株)一戸フォレストパワー	岩手県二戸郡 一戸町	木質バイオマス発電施設	2,200	—	平成26年 6月	平成27年 12月
(株)一戸森林資源	岩手県二戸郡 一戸町	森林資源燃料化施設	800	—	平成26年 6月	平成27年 12月

(注) 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第2四半期累計期間の売上高が堅調に推移しており、月次での売上高も平成25年12月は過去最高額を計上しております。各施設の稼働率も順調に推移しており、効率的な受け入れ体制の強化に努めてまいります。日常の定期点検を強化するため、専属のメンテナンス人員を配置することで計画的な修繕を進めております。また、営業力の強化により、食品リサイクル事業の受入数量拡大を目指し、需要が拡大しております液状化飼料の販売増加に努めてまいります。

売上原価は費目ごとの増減とともに変動費用は増加しておりますが、概ね計画通り推移しておりますので、原価率の改善により、売上総利益、営業利益が堅調に推移しております。施設の保守点検に伴う稼働状況等、売上高の増減及び維持管理費の発生等による業績の変動要因もありますので、現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,220	1,087	132	1,147	72
売上原価	934	855	78	904	30
売上総利益	285	231	54	243	42
販売管理費	111	105	6	103	8
営業利益	174	126	47	140	34

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	287,011	354,390
受取手形及び売掛金	300,122	294,339
仕掛品	15,852	19,948
原材料及び貯蔵品	14,415	17,963
前払費用	17,284	27,444
繰延税金資産	39,320	11,268
その他	3,076	8,512
貸倒引当金	△2,189	△2,112
流動資産合計	674,894	731,755
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,552,116	1,558,639
減価償却累計額	△576,316	△603,523
建物(純額)	975,800	955,116
構築物	280,984	280,984
減価償却累計額	△172,764	△178,724
構築物(純額)	108,220	102,260
機械及び装置	2,579,046	2,634,871
減価償却累計額	△1,728,331	△1,795,154
機械及び装置(純額)	850,715	839,716
車両運搬具	63,497	69,358
減価償却累計額	△45,557	△46,164
車両運搬具(純額)	17,939	23,193
工具、器具及び備品	36,613	38,200
減価償却累計額	△32,127	△33,301
工具、器具及び備品(純額)	4,485	4,899
生物	6,824	7,940
減価償却累計額	△3,422	△4,501
生物(純額)	3,402	3,439
土地	291,995	231,995
建設仮勘定	3,094	22,132
有形固定資産合計	2,255,652	2,182,754
無形固定資産		
その他	12,347	10,689
無形固定資産合計	12,347	10,689
投資その他の資産		
関係会社株式	135	135
繰延税金資産	14,372	3,761
その他	26,192	26,057
貸倒引当金	△1,645	△1,747
投資その他の資産合計	39,054	28,206
固定資産合計	2,307,054	2,221,650
資産合計	2,981,949	2,953,405

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	195,689	156,265
短期借入金	—	91,660
1年内償還予定の社債	—	98,000
1年内返済予定の長期借入金	200,004	81,898
未払金	62,915	79,405
未払法人税等	62,290	22,793
賞与引当金	—	20,000
役員退職慰労引当金	10,000	—
その他	139,244	66,056
流動負債合計	670,144	616,078
固定負債		
社債	—	602,000
長期借入金	1,023,030	384,856
長期未払金	92,543	124,185
その他	42,750	12,750
固定負債合計	1,158,324	1,123,791
負債合計	1,828,468	1,739,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,592	294,797
資本剰余金	415,072	415,277
利益剰余金	441,914	501,570
自己株式	△35	△35
株主資本合計	1,151,544	1,211,609
新株予約権	1,936	1,926
純資産合計	1,153,480	1,213,536
負債純資産合計	2,981,949	2,953,405

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,087,457	1,220,140
売上原価	855,751	934,383
売上総利益	231,706	285,756
販売費及び一般管理費	105,345	111,557
営業利益	126,360	174,199
営業外収益		
受取利息	12	21
受取家賃	2,854	3,900
その他	1,535	2,151
営業外収益合計	4,401	6,073
営業外費用		
支払利息	24,454	14,697
社債利息	149	579
社債発行費	—	17,901
支払手数料	17,014	7,588
その他	2,961	2,768
営業外費用合計	44,580	43,535
経常利益	86,182	136,737
特別利益		
固定資産売却益	—	4,403
特別利益合計	—	4,403
特別損失		
固定資産売却損	39	—
固定資産除却損	7,406	—
特別損失合計	7,446	—
税引前四半期純利益	78,736	141,140
法人税、住民税及び事業税	9,993	20,551
法人税等調整額	18,687	38,663
法人税等合計	28,681	59,214
四半期純利益	50,054	81,925

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	78,736	141,140
減価償却費	122,010	118,604
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,191	25
社債発行費	—	17,901
金利キャップ評価損益(△は益)	21	0
受取利息及び受取配当金	△12	△21
支払利息	24,604	15,276
固定資産除却損	7,406	—
有形固定資産売却損益(△は益)	39	△4,403
売上債権の増減額(△は増加)	△21,594	5,783
たな卸資産の増減額(△は増加)	37	△7,643
仕入債務の増減額(△は減少)	6,141	△39,424
未払費用の増減額(△は減少)	8,407	△67,265
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,500	20,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△10,000
その他	△1,519	△28,655
小計	250,585	161,318
利息及び配当金の受取額	9	21
利息の支払額	△25,005	△17,066
法人税等の支払額	△1,559	△59,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,030	85,127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,077	△30,605
無形固定資産の取得による支出	—	△251
有形固定資産の売却による収入	9	65,652
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	1,000	—
その他	△3,329	954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,397	35,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△93,892	91,660
長期借入れによる収入	—	458,800
長期借入金の返済による支出	△93,422	△1,215,080
社債の発行による収入	—	682,098
社債の償還による支出	△20,000	—
割賦債務の返済による支出	△9,886	△1,214
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,258	△17,891
株式の発行による収入	161,820	400
新株予約権の発行による収入	1,936	—
新株予約権買取による支出	△11,217	—
配当金の支払額	△12,807	△22,270
その他	—	△30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,729	△53,497
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	90,903	67,379
現金及び現金同等物の期首残高	13,048	287,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	103,952	354,390

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

子会社及び孫会社の設立

当社は、平成25年12月18日開催の取締役会において、株式会社エナリス（本社：東京都足立区、社長：池田元英、以下「エナリス」）との合弁で当社が65%、株式会社エナリスが35%出資の子会社及び当該子会社100%出資の孫会社を設立することを決議し、平成26年1月16日に新会社設立の登記が完了いたしました。

①設立の目的

当社は平成19年よりバイオマス発電施設を稼働運営しておりますが、新たに森林資源を活用したバイオマス発電事業を行う事により、林業の活性化、雇用創出による地域経済への貢献が可能であるとともに、首都圏でも需要が高まっております、二酸化炭素排出係数ゼロの再生可能エネルギー需要に対応するため、新たな発電事業を計画しております。設備投資金額が高額となるため、柔軟で多様な資金調達を目的として子会社及び孫会社を設立いたしました。

当社の燃料収集及び発電施設の運営管理ノウハウとエナリスの発電施設建設及び電力流通技術並びに多様な資金調達ノウハウを融合することにより、自然エネルギー電力の中でも最も安定した発電量を創出することが可能なバイオマス発電事業を推進することが可能であるとの判断により、合弁会社を設立いたしました。

なお、株式会社一戸フォレストパワーは、株式会社エナリスの子会社である株式会社フォレストキャピタル（本社：東京都足立区、代表取締役 久保好孝）が組成するグリーンバイオマス発電事業向けの資金提供を目的とした「緑の電力を創るファンド1号投資事業有限責任組合（呼称：緑の電力ファンド）」及び当社に対して優先株式を発行し、発電施設の営業運転開始時には資本金を4億6千万円とする計画であります。

②子会社の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 社名 | 株式会社 一戸フォレストパワー |
| (2) 代表者 | 小林 直人（当社 代表取締役社長）
久保 好孝（株式会社エナリス取締役会長） |
| (3) 所在地 | 岩手県二戸郡一戸町岩館字田中65番地 1 |
| (4) 事業内容 | バイオマス発電事業及び付帯事業 |
| (5) 資本金 | 2,000万円 |
| (6) 発行株式数 | 400株 |
| (7) 株主 | 当社65% 株式会社エナリス35% |
| (8) 決算期 | 6月 |

③孫会社の概要

- | | |
|-----------|----------------------|
| (1) 社名 | 株式会社 一戸森林資源 |
| (2) 代表者 | 小林 直人（当社 代表取締役社長） |
| (3) 所在地 | 岩手県二戸郡一戸町岩館字田中65番地 1 |
| (4) 事業内容 | バイオマス燃料の製造販売及び付帯事業 |
| (5) 資本金 | 1,000万円 |
| (6) 発行株式数 | 200株 |
| (7) 株主 | 株式会社 一戸フォレストパワー100% |
| (8) 決算期 | 6月 |

④設立の日程

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 登記日 | 平成26年1月登記完了 |
| (2) 営業開始日 | 平成28年2月下旬 |